



神戸市会議員の 期末手当アップを

維新の会

は

反対しました!!



反対質疑動画▼



令和6年12月4日議会において自民党・公明党・こうべ未来より上程されました、議員提出議案第17号「神戸市会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例」について**日本維新の会は反対**を行いました。

日本維新の会	自民党	公明党	こうべ未来	共産党
反対	賛成	賛成	賛成	反対

※所属議員5名以上の交渉会派のみ記載

主張!

全国政令市で2番目に高額である議員報酬をさらに増額させることは、**市民からの理解を到底得られるものではありません! 実質賃金の上昇及び、さらなる行財政改革を推進し、市民生活を改善・向上させていくことが最優先!!**



代表質疑 (令和7年2月25日)



三木 しんじろう 議員

小中学校の給食費無償化・学童保育への給食提供について

三木 本市の判断で中学校給食費の半額助成を実施や全員喫食に向け、給食センターの整備を行っている。2026年1月には市内全ての中学校給食が全員喫食となる予定であることを踏まえ、国の動向を見守るのではなく、中学校給食から段階的に無償化に踏み切れないか。

福本教育長▶無償化の実施については多額の財政負担が必要で子育て支援政策全体の観点から全市的に判断する必要があり、必要な財政支援を国に要望しているところである。今後、国において安定的な財源の確保策を含めた無償化の制度について検討される見込みであり、教育委員会としては動向を注視し適切に対応していきたい。

三木 学校での給食提供のほか、長期休暇中における学童保育施設への昼食提供に対するニーズが高い。検討状況や今後どのように進めていくのか伺う。

小原副市長▶保護者ニーズが高いことは認識しており、一部の学童保育施設では自主事業として昼食を提供した事例もある。給食センターを活用した学童保育施設への給食提供については、給食センター自体の稼働体制が整っていないこと、学校給食と学童保育で利用人数が異なるため提供方法に工夫が必要という課題がある。実施施設との調整や実施方法に関する協議を行い、実施に関して早期にできるよう検討を進めていきたいと考えている。



川口 まさる 議員

公的補助金の費用対効果検証と補助の改善・見直しについて

川口 公的補助は、行政を補完し、政策目的を効率的に実現する手段として機能することが要請されています。他方で、個々の補助金について、一度創設されると、その効果等が十分に評価・検証されないまま長期的に継続されているのではないかと懸念しております。補助金の原資は、市民の皆様からお預かりした税金です。常に効果検証を行い、より効果を発揮できる内容に改善するか、費用対効果が低くなっている場合には、補助を見直すべきだと考えます。どのように取り組むのでしょうか。

久元市長▶平成28年11月に、補助金見直しガイドラインを策定し、5年ごとに補助金の全件検証を実施し、検証結果と見直し内容を市のホームページに公表しています。また、毎年の予算編成過程においても、各局において、補助金も含めた各事業について、事業効果の検証を行い、行財政局によるチェックも加えながら見直しを行っています。

今後も予算執行時や予算編成過程において、効果検証、見直しを積極的に行っていくとともに、令和8年度は5年に一度の補助金事業の全件検証を予定しており、より効果的な補助金の活用が図られるよう取り組んでいきたいと存じます。



なんの ゆうこ 議員

DV加害者の更正加害者プログラムに導入について

なんの 児童虐待の中でも特に「心理的虐待」が近年増加しています。中でも子どもの前で配偶者等に対して暴力をふるう、面前DVも心理的虐待であり、子供への影響も大きく問題視されています。従来、行政のDV対策は加害者と被害者を分離する施策が中心でしたが、近年では再発防止の観点から、専門家を交えたカウンセリング等で、加害者本人にDVの知識や被害者への影響などを学ばせ、認識や行動の変化を促す「加害者プログラム」実施の必要性を掲げています。現在のDV被害者は、自宅を離れ生活的な負担も重く、同時に子供も転校を余儀なくされるなど、生活環境の変化により、精神面の負担や発達阻害にもつながるため、本市としても、交付金を活用しながら、「加害者プログラム」を導入し、加害者の更正に力を入れるべきと考えますが、ご見解をお伺いします。

小原副市長▶DVについては、被害者の安全確保と心理的ケアや自立への支援が最優先で、「加害者プログラム」について、加害者へ働きかけができる団体がいないため直ちに行うことは難しい。今後、警察やDV加害者の高いスキルを持った専門家や団体等と連携した取り組みが必要となるため今後も県へ働きかけていきます。